

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

2025年度採択事業者 調査報告書

2026年3月31日

京都大学イノベーションキャピタル株式会社

(1) 事業目的



課題

当社は京都大学を中心とした国立大学の技術シーズを扱うスタートアップに特化したVCファンドを運営している。会社設立時から北米の起業エコシステムに学びながら事業を設計・運営しており、ユニコーンを目指すスケールのスタートアップ創出に数多く寄与してきた。一方、国立大学には未だ数多くの技術シーズが存在しているが、「技術シーズのビジネス化を担う経営人材が圧倒的に不足している」ことが起業する上での最大のボトルネックの一つとなっている。即ち、これまで以上に幅広い起業家及び経営人材にアプローチし、ディープテックスタートアップの創業に挑戦できる環境を構築する必要がある。

MPM以前の取組

当社は、経営者人材の不足がDTSU創出のボトルネックであることをいち早く把握。2017年に自社の起業家候補者プールである会員制組織「ECC-iCAP」を設立し、「20年後の世界を変える」ことを目標に研究者・起業家・当社が共に起業に取り組んできた。

ECC-iCAPは、研究成果を一般社会に広く開放・活用する目的のもと、研究者自らが起業家候補に「この指とまれ」方式で働きかけるリバースピッチイベントとワークショップを運営するものであり、これまでに24社の設立・起業を導いてきた実績を持つ。

前回のMPM事業では、上記取り組みを発展させる形で「ディープテック京都」を創設し、「人材発掘チャネルの拡大」「創業準備コミュニティCCC(Company Creation Committee)の仕組み化」などを通じて、2名のフルタイムEIRと30名のパートタイムEIRの採用、7名の創業意思決定、3社の大学発スタートアップ設立を果たした。また、経営人材をコミュニティ化することにより中期的なスタートアップ創出トレンドも生み出し、現在も2名が資金調達を伴う創業準備中（1年以内の創業を想定）となっている。

MPMで目指す姿

これまでの成果を踏まえた上で「創業準備コミュニティの拡充及び創業支援対象エリアの全国展開」「グローバルスタートアップタレントの発掘・育成」に対して重点的に取り組み、創業エコシステムを全国に広げながらグローバルスタートアップの創出に挑戦する。

- ① 創業コミュニティ強化及び支援対象エリアの拡張
- ② グローバル経営人材を擁する大企業のアルumni人材獲得
- ③ 海外MBA所属の日本人経営人材の発掘
- ④ グローバル人材育成プログラム

(2) 事業概要

実施項目	取組概要
①経営人材の発掘・育成	体制整備 ・ 体制強化のためHR担当をiCAPで2名採用。 ・ ECC-iCAP一般会員、パートタイムEIR、フルタイムEIRの増員。 内部努力 ・ 東京の経営人材にブランド訴求するため、ビジネスメディアでの情報発信を検討・実施。 ・ DTSU創出のフラッグシップとなるイベントを京都で企画・実施。 ・ 経営人材によるソーシング範囲を京都大学から全国の国立大学に拡張。 外部リーチ ・ 海外MBA日本人コミュニティ（海外MBA.comなど）と連携し、EIR紹介プロジェクトを企画・実施。 ・ 大手総合商社と連携しアルムナイ人材獲得共催イベントなどを企画・実施。 ・ アルムナクラウドサービス事業者と連携し、サービス提供先への共同リクルーティング活動を企画・実施。
②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出	「コミュニティベース」かつ「創業準備トライアングル（起業家-研究者-キャピタリスト（伴走者））構築」を中心としたDTSU創出スタイルを更に磨き上げる。 ① 出会いの加速 経営人材：大企業アルムナイ・海外MBA人材獲得に挑戦 研究者：京大にとらわれず全国の国立大学に支援の幅を拡大 ② 関係構築の加速 海外展開：グローバル人材育成への挑戦 コミュニティ強化：創業コミュニティ強化による起業熱強化
③経営人材として経営参画するための環境整備	・ 「フルタイムEIR」「パートタイム」「ECC-iCAP一般会員」の制度設計を継続。 ・ 創業チームファーストの待遇とするため「① 事業内容を縛らない、② 起業前に株式持分を決めない、③ 必要に応じ投資業務を経験し投資側の論理を理解する」コンセプトを継続。
④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加	・ 会議体設置：月次の各種実績を整理し、振り返りと改善のための会議を毎月実施する。 ・ 経営人材が「いかにして大学研究者及びシーズとマッチングするか」を測定する評価を行う。 ・ 外部登壇機会の創出とMPM事業の広報活動

(3) KPI

KPI	種別	目標値 (人/件数)	実績値 (人/件数)	備考
マッチング創出数				
イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数		200	40	※いずれも数値目標は2027年3月末までの2年間の数値である。
「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数	SU創出	45	15	
	設立済みSUへの参画	15	2	
「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数	SU創出	15	4	
	設立済みSUへの参画	5	2	
大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数	SU創出	6	2	
大学発スタートアップ支援数				
経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数	設立済みSUへの参画	4	2	